

令和5年度第2回千葉市部活動地域移行推進協議会 議事録

1 日 時 令和5年12月21日（木） 14時00分から16時00分まで

2 会 場 千葉市役所高層棟10階 教育委員会室

3 出席者

【委員】川名議長、小名木委員、阿部委員、山田委員、宮下委員、藤咲委員、三谷委員、本澤委員、野村委員、曾我辺委員

【事務局】教育指導課：八斗課長、竹治指導主事

保健体育課：桑田部活動地域移行担当課長、梅野主任指導主事、小山総括コーディネーター、中山主任主事

文化振興課：市倉課長、松田主査

スポーツ振興課：内谷課長、奈良担当課長補佐、篠田主査補、宮内主任主事

4 議 題

(1) 情報共有

(2) 児童生徒・保護者・教職員等へのアンケートの実施について

(3) その他

5 会議経過

○事務局（奈良担当課長補佐）

定刻になりました。会次第に沿いまして進行を務めさせていただきます。委員の皆様におかれましては、年末のお忙しい中にも関わらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。私は、司会進行を務めさせていただきます、市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課の奈良と申します。どうぞよろしくお願います。会に先立ち、配付資料の確認をさせていただきます。座席表、(資料1) 推進協議会資料（パワーポイントを印刷したもの）、(資料2) 実証事業事前アンケート集計結果、(資料3) アンケート項目案、(参考資料1) 千葉県地域クラブ活動等人材バンクのちらしとなります。不足はございませんでしょうか。資料につきましてお気付きの点などがありましたら、事務局にお申し付けください。次第に沿って進めさせていただきます。なお、本会議の議事録につきましては、委員の皆様を確認をいただき、その後、議事録確定後は、市のホームページにて公開いたしますのでご承知おきください。それでは、開会にあたりまして、議長である学校教育部長からご挨拶を申し上げます。

○川名議長

改めまして皆様こんにちは。日頃より、学校教育の推進につきまして、それぞれのお立場からご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。また、前回に続きまして第2回の推進協議会にお集まりいただきありがとうございます。前回の会議でも、皆様の忌憚のないご意見が、運営において大変参考になっております。引き続き、本日もどうぞよろしくお願いたします。現在の地域移行の状況ですが、10月から市内18校、24部活にて休日の実証事業を行っています。先日、千草台中学校で行われ

ているバドミントンの指導の様子を参観に行っていました。阿部委員や山田委員にもお越しいただきましたが、元オリンピック選手が指導してくれているという非常に贅沢な状況で、8名の生徒に対して、非常に丁寧な指導を行っていました。生徒たちの声を聞いてみますと、良い指導をしてきて上達したような気がするというような前向きな感想がございました。平日と休日の異なる指導環境において、違和感なく事業が進んでいるという印象を受けております。ただ、指導者の掘り起こしや確保には課題がありますし、実証事業の中で明らかになる課題についても、今後も対応してまいりたいと考えています。本日の議題といたしまして、情報共有の他、アンケートの実施について皆様のご意見をいただきたいところであります。このアンケートにつきましては、将来、中学生となる小学生や保護者、教職員など広くアンケートを行う中で、課題や方向性等についてしっかり確認するとともに、教職員の意見も反映し、学校にとってもより良い部活動地域移行にしていきたいと考えています。そのベースとなるアンケートについてどうすべきであるかというところをご協議いただければと思います。前回のように、是非とも忌憚のないご意見をいただければと思います。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（奈良担当課長補佐）

川名議長ありがとうございます。議事進行につきましては、議長である川名委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○川名議長

それでは、次第「議題」について、事務局から説明をお願いします。また、「1 情報共有」にて、事務局の説明が終わりましたら、各団体で共有すべき事項についてお話いただきたいと思います。また、その後、情報共有事項について質疑応答の時間を取らせていただきます。それでは、事務局にて説明をお願いします。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

※別紙「(資料1) 推進協議会資料 (P 2～9)」に沿って説明

※別紙「(資料2) 実証事業事前アンケート集計結果」について説明

○川名議長

事務局からこれまでの状況について説明させていただきました。質問については、この後に時間を設けているのですが、その前に各団体の皆様から、8月以降における地域移行の動きについてご報告いただいた後に、質問に移りたいと思います。それでは、阿部委員からよろしくお願い致します。

○阿部委員

千葉市小中学校長会の阿部です。お世話になっております。校長会では特別委員会を開いて、関係部門と連携しながら方向性について協議しています。ただ、校長先生や教職員が地域移行の現状や効果等について理解しきれていないのが現状です。兼職兼業でやることになるのか、他校と合同での活動を行うことになるのか、身分保障はどうなるのかといった点を明らかにして説明していく必要があると思います。完全地域移行を見据え、地域移行の趣旨や将来像について急いで浸透させていかなければいけないと考えています。

○川名議長

身分保障については、後ほど事務局の方から補足ができればと思います。

○山田委員

千葉市小中学校体育連盟の山田です。千葉市小中学校体育連盟としては、地域移行として特別な取り組み

をしているというようなことはございません。地域移行に関連する動きといたしましては、この夏の総体で学校の他にクラブチームが参加しており、それに伴い旅費の手続き等で色々と課題が発生しましたが、しっかりと制度について説明を行い対応してまいりたいと考えています。

○藤咲委員

千葉市教職員組合の藤咲です。中学校の先生方にヒアリングを行ったり、地域移行についての話をしたりしているところです。不安を抱えている先生が多く、また、実証事業の対象になっていない学校の先生は内容を理解されていない方が多い印象です。我々としても、引き続き先生方に情報提供を行ってきたいです。

○三谷委員

千葉市PTA連絡協議会の三谷です。PTA連絡協議会では、市の協議会の役員や各区の協議会の役員に対して、地域移行の話をしましたが、保護者も理解されていない方々がほとんどです。地域の方にもお話をする機会がありましたが、同様に理解されていない状況でした。千葉市は、まだ地域移行専用のホームページを設けていない状況でしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

この協議会については、議事録と資料を掲載していますが、特設ページのようなものは整備していない状況です。

○三谷委員

なので、保護者からは、全体像を理解できないとか何の協力ができるのかという話も出ています。

○川名議長

今後、地域移行のビジョンについて上手く発信していけるかが課題ということでご意見いただきました。ありがとうございます。スポーツ協会様はいかがでしょうか。

○野村委員

千葉市スポーツ協会の野村です。私からは、大きく分けて2つほど報告させていただきます。1つ目として、前回の会議以降、千葉市スポーツ協会加盟団体への説明の場において、桑田部活動地域移行担当課長にもご出席いただき地域移行の話をさせていただきました。12月8日の連絡会では、出席者から3点ほど意見が出ました。まず、1点目として、外部指導者等の既存の制度とのリンクをどのように図っていくかという話がありました。2点目として、休日に発生した問題をどのように学校職員と共有していくか、それから3点目として、部活は生徒の精神的な成長を促す役割もあり、平日と休日で指導環境に差が生じてしまうことで生徒に何かしらの影響を与えてしまわないか不安だという話がありました。2つ目として、スポーツ協会では、千葉市との契約により、泉谷中学校外4校における休日運動部活動管理運営の業務を行っておりますが、4点ほど懸念事項がございます。1点目として、事業開始までの準備期間が短かったため、指導者や学校現場との共通認識が十分に図れませんでした。2点目として、生徒の出欠確認等を主な目的とする連絡ツールを導入しておりますが、使用方法が分かりづらい、3点目として、休日の指導者と平日の先生による指導方法のギャップに生徒が戸惑ってしまうという話がありました。最後に4点目として、これはスポーツ協会としての話になりますが、今後の事業の拡充を踏まえると、現在のスポーツ協会の人員では対応することが困難になると想定されること。以上のような意見が寄せられているところです。

○川名議長

この件について、事務局からは何か話しておくべきことはありますか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

まず、外部指導者と地域移行とのリンクについてですが、部活動指導員という形で顧問の先生と同じような権限を有して指導していただいている方が40名程度いらっしゃるのですが、現状、その方々と地域移行について連携して動けてはおりません。今回は、実証事業ということで本来であればその辺を上手く絡めることができればよかったのですが、その調整が上手くできずに別々に走り出しているような状況です。来年度の実証事業の中では、部活動指導員の方々が、地域移行になった際にそのまま指導者として引き続き指導に従事できるよう調整を図っていきたくと考えています。次いで、平日の顧問教諭と地域移行の指導者との指導方法のギャップについてですが、地域移行になって外部の指導者が入ることで生徒達が混乱してしまうというような状況は、当初から想定されていたことではあります。地域移行の指導者に対しては、平日の顧問教諭の指導方法も踏まえながら丁寧に指導いただくよう伝えておりますが、不慣れた部分もあり、そのような混乱が生じているのではないかと思います。受託事業者によっては、指導者以外の統括管理を担う職員が巡回指導を行い、指導者の指導状況をチェックしているというような事例もございますので、そういった体制がどの程度必要なのかというところも見極めながら進めていきたいと考えております。また、休日のトラブルについてですが、現状、生徒にとって一番相談しやすいのは学校の先生になると思いますが、本来であれば受託事業者が対応し、その情報が受託事業者から教育委員会に報告され、内容次第では各所にフィードバックするというような流れが望ましいと思います。精神的な成長の観点については、そのように考える方も多く、部活動の重要な部分を占めていたと思いますが、そういった場がなかなか成立しなくなっているという昨今でございますので、ある程度割り切って進めていかなければいけないのかなと感じております。

○野村委員

私がお伝えした内容も含め実証事業で明らかになった課題等は、今後の体制整備に反映していただければと思います。

○本澤委員

千葉県スポーツ推進委員連絡協議会の本澤です。スポーツ推進委員連絡協議会では、前回の協議会から今回の協議会までに会議の機会がございましたので、まだ組織内において地域移行の周知はできておりません。明後日、当協議会の理事会が開催され、70名ほどの理事が参加する予定です。千葉県の人材バンクへの登録や地域移行への協力の方法について、組織内で検討していきたいと考えております。

○川名議長

それぞれの団体の中で、できる範囲での周知や理解を深めるといった取組みはお願いしたいと思います。それと、本澤委員からお話のありました千葉県の人材バンクというのは、千葉市にお住まいの方々でも使用できるという認識でよろしいでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

千葉市在住の方々でも使用できます。

○曾我辺委員

千葉市文化振興財団の曾我辺です。地域移行の進め方として、運動系から先に動いていて、文化芸術系は後からなのかなと感じています。また、千葉県の人材バンクについてですが、どんなジャンルでも登録

できますというよりは、特定の具体的なジャンルに絞って募集を行うような仕組みにした方が望ましいのではないかと感じています。

○川名議長

今、曾我辺委員より、文化芸術系における地域移行の取組みが運動系に比べて遅れているのではないかとのお話がありましたが、本市のその辺の温度感はどのような状況なのか事務局より補足いただけますでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

ご指摘のとおり運動系が先行しているのですが、国の動きとしても、運動系が先行しており文化芸術系は後追いの状況です。文化芸術系は、今年度は3校の吹奏楽部で実証事業を行っていますが、来年度は6校を対象として、吹奏楽部に加え合唱部でも実証事業を行いたいと考えています。文化芸術系の部活動で、休日に活動しているのは吹奏楽部、合唱部、演劇部の3部活程度であり、運動系と比べると非常に少ない状況です。文化芸術系における実証事業の対象部活動数について、対象となる部活動数で比較してしまうと大きな差がありますが、割合で考えると運動系とはそこまで大きな開きはないかと思われま

○川名議長

文化芸術系の方も、しっかり進めているということですね。了解しました。

○宮下委員

千葉県音楽振興協議会の宮下です。千葉県に確認したところ、現時点で文化部の地域移行の進捗状況はあまり芳しくない伺っています。吹奏楽は、練習場所の確保や楽器の移動等の課題がございます。合唱は、全日本合唱連盟より方針が示されていないこともあり、県によって差があるようです。本県ではほとんど地域移行は進んでいません。マーチングバンドについても、日本マーチングバンド協会から方向性が示されていないため同様の状況です。市原市では、文化部において、実験的に拠点となる学校に近隣校の中学生を集めて合同練習を行っているというような話を聞いています。それから、人材育成の面では、10月9日に幕張総合高校において、千葉県吹奏楽連盟主催の吹奏楽部活動指導員認定講習を行い、32名の方に参加いただきました。また、私たち、「千葉県音楽振興協議会（音振協）」が所属している県内最大規模の総合文化団体「千葉県芸術文化団体協議会（芸文協）」は、音楽だけに限らず、茶道や華道等の様々な団体が所属しています。12月の情報交流会において、千葉県から地域移行のことについて説明したいとの要望があり、その場で地域移行のことについて説明していただきました。私たち、音振協も所属団体と情報の共有を図り、地域移行についてできることを協力しながらやっていきたいと考えています。

○川名議長

ありがとうございます。皆様からそれぞれの団体の状況についてお話しいただきましたが、先ほど事務局より情報共有で説明のありました本市の地域移行の状況について、質問がございましたらご発言いただければと思います。

それでは、私の方から確認させていただきたいのですが、先ほど宮下委員から幕張総合高校での講習会に32名の方が参加されたとお話ございましたが、その32名の職業や年齢層はどういったものでしたか。

○宮下委員

大学生から定年退職された方まで幅広かったです。

○川名議長

講習会のイメージとしては、複数回、参加してもらい指導力を向上させるのが目的なのですか。

○宮下委員

いいえ、必ずしもそうではありません。1回だけ受ければ指導者として完璧というわけではないのですが、学校教育に携わる場合の心構えを習得することなどを主な目的として講習会を行っています。

○川名議長

指導の質の向上という点で、実証事業においても受託事業者に研修実施を義務付けています。現状では、受託事業者や各団体が個々に研修を行っている状況ですが、最終目的は指導の質の向上であるため、研修内容について共有を行うことで研修の内容が充実し、更なる指導の質の向上に繋がるのではないかと思います。その他に、皆様からご質問等がありますでしょうか。

○山田委員

地域移行になった際に、部活動の本来の目的は人間育成であり、勝利至上主義に偏った指導にならないか懸念されますので、その辺も研修の中で指導者にしっかりと説明する必要があると思います。また、地域移行の終着点は平日の地域移行であり、休日の地域移行が完了した後のビジョンも示していく必要があると思います。

○川名議長

休日の地域移行が完了した後のビジョンについて、事務局の方で何か見解はありますでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

休日の着地点も明確に定まっていない中で平日の着地点もとなると、なかなかお示しするのが厳しい面もございます。生徒数の減少により部活動の維持も厳しくなっている状況において、部活動のスリム化なども検討しながら将来像について示していけたらと考えています。休日は、拠点校に複数校が集まり活動することで指導者の頭数を減らせるのですが、平日は、学校ごとの活動となってしまう、休日よりも指導者の人員が必要になります。また、平日は学校の運営と地域クラブ活動がかなり密接になってしまいますので、運営面で様々な課題がございます。この後、説明させていただきますがアンケートの中で子ども達がどのような平日の活動を希望しているのかを調査したいと思います。例えば、部活動という仕組みを変えずに先生方の勤務時間内の16時30分までの活動にするのか、夕方16時から18時までの活動で、一度家に帰ってから違う学校や地域の公共施設に行く、あるいは学校体育施設開放のようにやるのか。そういった子ども達の平日のニーズを把握した上で方向性がおぼろげながら浮かんでくるのではないかと考えています。また、勝利至上主義に陥る危険性についてですが、指導者が自身のチームを指導しているというような意識になると、そのようなことが懸念されると思いますが、現時点では実証事業を見ている限り、あくまで助っ人という意識でご協力いただいているのが実態ですので、現時点では、勝利至上主義に陥る危険性は、事務局では問題視していないような状況であります。ただ、今後そのような問題が生じる恐れもありますので、巡回指導の実施や保護者からの意見等により、そのような指導者の存在が判明した場合は注意する必要があると考えています。

○山田委員

千葉市小中学校体育連盟という立場で先々のことを考えた際に、現状、公式戦の運営は連盟内の専門部が対応していますが、地域移行になった場合は、各種目の協会等が運営していくという考え方になるはずなので、その辺の課題も検討していく必要があると考えております。

○川名議長

大会運営は大きな課題であると認識しています。阿部委員からあった身分保障のこと、それから藤咲委員から前回の会議でお話のありました、地域移行になっても部活動指導を続けたい先生方の意欲を尊重することについて、今回、実証事業で兼職兼業により従事されている教職員がおりますが、その点について事務局から補足いただけますか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

今回、地域移行ということで兼職兼業が前提とされているような状況ですが、本市においても兼職兼業で従事していただく方の確保が重要な課題になっております。その一方で、これまでの職務規定では、兼職兼業で報酬をもらって従事することが難しい部分もありましたので、千葉市役所全体で兼職兼業の規定を変更するような検討を行っております。また、教職員に限らず、行政職も含めて兼職兼業ができるよう動いております。また、身分保障につきましては、部活動の場合は国家賠償法における保障の下での活動になりますが、地域移行の場合は、今回の実証事業ではスポーツ安全保険に指導者も入り、その中で賠償責任保険が適用される活動となります。最終的にどういった仕組みにするかは未定ですが、採用される地域クラブの運営体制によっては、千葉市が最終的な全責任を負うというような仕組みづくりも考えられます。

○川名議長

兼職兼業は、正式に方向性が定まり次第、皆様にお伝えできればと思います。

○阿部委員

兼職兼業を先生方に頼む際に、単に、やるのか、やらないのかを聞くのではなく、身分保障について明確な説明を行った上でやるのか、やらないのかをしっかりと確認していただきたいです。仮に、何か問題が発生した場合については、全て指導者の責任とされてしまうと、とても恐ろしくて兼職兼業ができないと思います。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

身分保障につきましては、活動中において生徒に事故等があった際に、教職員が全責任を負うようなことは考えておりません。現状では、地域移行の運営については、本市以外の主体に委託契約等により担っていただくことを想定しており、その主体が指導者の確保や派遣を行い、トラブル等についても責任をもって対応します。そのため、トラブル等があった際に、教職員が被害者の方と一対一でやり取りをするようなことはないと考えています。また、アンケートについても、このような身分保障についての仕組みを示した上で実施したいと考えています。

○阿部委員

仮に、令和7年度に1校で複数部活動の地域移行を実施する際に、かなり多くの教職員が兼職兼業で指導を引き受けるというような状況が想定されます。入札等で実施主体を選定する際は、その辺のマネジメントをしっかりと行える主体を選定していただきたいです。

○宮下委員

先ほど、川名議長より研修内容の共有について話がありましたが、千葉市との共催等により他の団体と連携して研修を実施することは差し支えありません。

○川名議長

承知しました。その辺の取扱いについては、今後検討してまいります。

○三谷委員

先ほどもお伝えしましたが、地域移行についてごく一部の方しか把握していない状況だと思います。そのため、指導者の人材確保が滞ってしまい、人手不足に陥ることが懸念されると思います。多くの方がこの地域移行の動きを知ることで、自然と指導者が集まってくる可能性がありますので、広く周知することは重要かと思えます。ロードマップについても、単に令和8年度の完全地域移行から逆算して動いていくのではなく、順次このような取組みを行っていくというようなものにする必要があると思えます。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

ご指摘のとおり周知がまだ足りていないことを痛感しております。今後、保護者の皆様へ向けてもアンケートを実施する予定ですが、地域移行について初耳という方も多いため、地域移行の現状や本市の取組み等についてホームページに掲載し、そのホームページを参照しながら回答していただくような形にしたいと考えています。また、保護者以外の皆様への周知についても、様々な手段を駆使しながら実施していきたいと思えます。

○野村委員

千葉市役所内の他局では、YOUTUBEを活用して事業の周知を行っている事例がありますが、その辺は検討されないのでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

そのような取組みを行っている自治体もごございますが、再生回数が少ないケースが多いです。

○野村委員

千葉市動物公園の動画は再生回数が多いですし、その辺は工夫次第で改善されると思えます。YOUTUBEやSNS等、様々な媒体を活用して周知を行う必要があるのではないのでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

ご指摘のあった部分は、取り入れられる部分は取り入れながら対応していきたいと思えます。

○川名議長

それでは、議題の方に戻りたいと思えます。「2 児童生徒・保護者・教職員等へのアンケートの実施について」事務局から説明をお願いします。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

※別紙「(資料1) 推進協議会資料 (P10～11)」に沿って説明

※別紙「(資料3) アンケート項目案」について説明

○川名議長

只今ご説明いたしました、この件につきまして皆様からご意見をいただきたいと思えます。アンケートの質問項目として、追加すべき事項や修正すべき事項、調査対象などご意見等ございましたらご指摘いただければと思えます。

○三谷委員

アンケートを実施する前段で、地域移行について周知される予定はありますか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

地域移行の内容等を記した説明文をアンケートに添付する形で対応したいと考えています。

○三谷委員

事前の周知が非常に重要かと思えます。いきなり地域移行のアンケートに回答しろと言われても、地域移行のことが何なのか分からない保護者がほとんどだと思えます。また、アンケートについて、そもそも

部活をやりたくない生徒もいると思いますが、そういった生徒でも回答できるような仕様になっているのでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

はい。回答できるような仕様になっています。

○阿部委員

アンケートについて子どもや保護者の意見を吸い上げて、実態を掴んだ上で体制整備を行っていくことは重要だと思いますので、是非ともやっていただきたいと思います。今年度、実証事業を実施している中学校は、拠点校に近隣校の生徒が集まって合同で活動しているケースが多いですが、合同での活動は必須の条件なのでしょうか。中学生向けのアンケート様式において、参加しない理由として「他校の生徒と一緒に活動するから」という回答欄が設けられているため、気になりました。指導者にとっては、生徒数が増えることが負担となり、生徒にとってもポジション争い等が生じてしまう恐れがあるため、他校との合同だけではなく、単独校での活動が可能な実施形態も必要かと思えます。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

正式な実施形態はまだ決まっていない状況です。なお、柏市では、人数が十分に確保できる場合など、単独で活動可能な部活は単独で活動しているようです。ただ、通っている学校に入りたい部活がなく、近隣校にその部活があり参加を希望するというようなケースも想定されるため、その辺の整理をどのようにするか検討していく必要があります。

○阿部委員

そうであれば、先ほどの回答項目は、「他校の生徒と活動することがあるから」というような記載にした方が望ましいのではないかと思います。

○野村委員

アンケート実施の際に、回答者の混乱を招かないようにするためにも、説明文に記載する内容がかなり重要になるかと思えます。ただ、他都市で同様のアンケートを実施した際に、質問内容が細かすぎて回答できないというケースもありましたので、その辺は上手く工夫して対応していただきたいと思えます。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

承知しました。今回のアンケートの対象者は小学生も含まれているので、分かりやすい内容になるよう対応したいと考えております。

○野村委員

小中学生は、このアンケートに対してどのような方法で回答するのでしょうか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

学校のギガタブ（タブレットPC）や保護者の情報端末を使用して回答することが想定されます。なお、市内小中学生が学校でギガタブ（タブレットPC）を用いてアンケートに回答しているケースはよくありますので、アンケートへの回答についてはスムーズに対応してもらえと思えます。

○野村委員

今年度の実証事業について、民間事業者等との振返りを行う予定はありますか。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

実証事業に協力していただいている事業者とは、打合せの場を設けて振返りを行う予定です。

○野村委員

その振返りが重要だと思しますので、しっかりとご対応いただければと思います。

○川名議長

他になれば、議題の「2 児童生徒・保護者・教職員等へのアンケートの実施について」については以上とさせていただきます。それでは、議題の「3 その他」に移ります。事務局から説明をお願いします。

○事務局（桑田部活動地域移行担当課長）

それでは、今後の日程でございますが、次回の第3回推進協議会につきまして令和6年3月の下旬を予定しております。後日、改めて日程調整の連絡をさせていただきます。議題につきましては、アンケート結果の共有やそれをどう活用していくかについてのご相談をさせていただくとともに、令和6年度の実施について説明させていただければと考えています。以上となります。

○川名議長

長時間に渡りありがとうございました。議題は以上となります。進行を事務局にお返しします。

○事務局（奈良担当課長補佐）

ありがとうございました。以上を持ちまして、令和5年度第2回千葉市部活動地域移行推進協議会を閉会します。